

【全数】  
令和5年（3月末現在）

# 労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

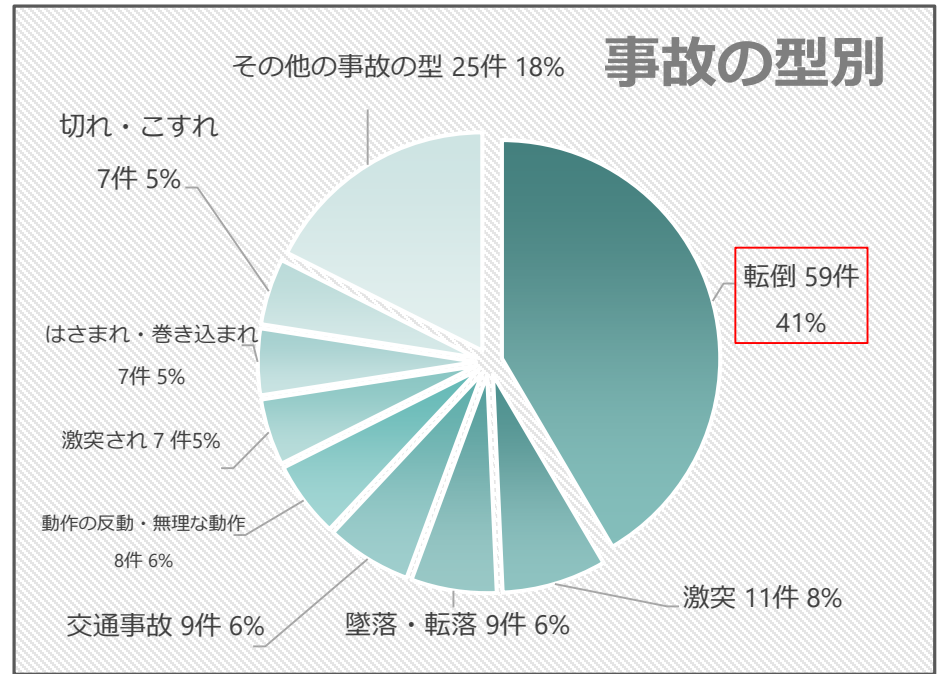
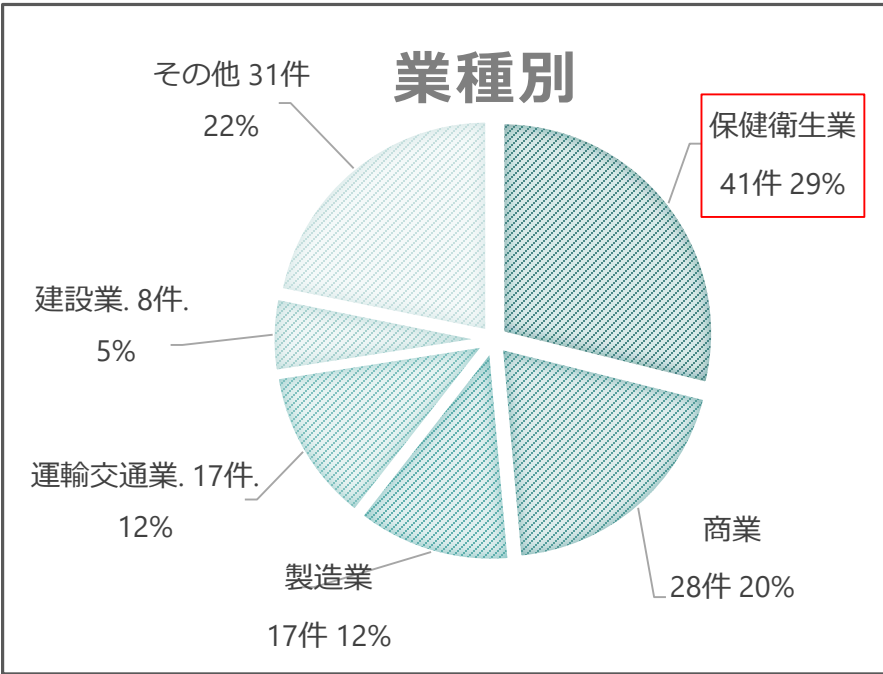
業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況												
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品																	
	水産食料品																	
	上記以外の食料品	3	10 (2)	4 (2)	6	150.0%	4 (1)	3 (1)	3									
	繊維・衣服その他繊維製品			1	-1													
	木材・木製品、家具・装備品			2	-2													
	パルプ・紙、印刷・製本			1	-1													
	化学工業																	
	窯業土石																	
	鉄鋼業、非鉄金属																	
	金属製品		1	1			1											
	一般機械器具		1 (1)		1		1 (1)											
	電気機械器具																	
	輸送用機械製造		2 (1)		2		1 (1)	1										
	電気・ガス																	
その他の製造	1 (1)	3 (3)	2 (1)	1	50.0%	2 (2)	1 (1)											
小計	4 (1)	17 (7)	11 (3)	6	54.5%	9 (5)	5 (2)	3										
鉱業			1 (1)	-1														
建設業	土木工事		1	2 (1)	-1	-50.0%	1											
	建築工事		1	4 (1)	-3	-75.0%	1											
	鉄骨・鉄筋家屋																	
	木造家屋	2 (1)	3 (1)	2	1	50.0%	1		2 (1)									
	その他の建築工事		2 (1)	4 (1)	-2	-50.0%	1 (1)	1										
その他の建設		1	① 3	-2	-66.7%	1												
小計	2 (1)	8 (2)	① 15 (3)	-7	-46.7%	5 (1)	1	2 (1)										
運輸交通業																		
道路貨物運送業	7 (1)	12 (3)	16 (10)	-4	-25.0%	4 (2)	4 (1)	4										
その他の運輸交通業		5 (4)	10 (9)	-5	-50.0%	4 (3)	1 (1)											
貨物取扱	2 (2)	2 (2)	2 (1)			2 (2)												
農林業	農業	1	1		1			1										
	林業		3	3			1	2										
畜産水産業	畜産業	3 (1)	5 (2)		5		1 (1)	3	1 (1)									
	水産業																	
商業	小売業	6 (2)	22 (12)	18 (13)	4	22.2%	12 (7)	9 (5)	1									
	その他の商業	4	6 (1)	4 (4)	2	50.0%	2	4 (1)										
通信業		3 (2)	2 (2)	1	50.0%	1	2 (2)											
保健衛生業	社会福祉施設	6	14 (6)	14 (4)			10 (4)	3 (2)	1									
	その他の保健衛生業	19 (2)	27 (8)	3 (3)	24	800.0%	21 (3)	6 (5)										
接客娯楽業	旅館業		1	8 (6)	-7	-87.5%		1										
	飲食店	1 (1)	1 (1)	3 (1)	-2	-66.7%	1 (1)											
	その他の接客娯楽業	1 (1)	1 (1)		1				1									
その他	ビルメンテナンス業	1	6 (3)	7 (6)	-1	-14.3%	5 (3)	1										
	その他(上記以外の全ての業種)	4 (2)	8 (5)	13 (5)	-5	-38.5%	3 (2)	4 (3)	1									
合計	61 (14)	142 (59)	① 130 (71)	12	9.2%	81 (34)	47 (22)	14 (3)										

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。  
「今月分」は、当月報告受付件数（内数）である。  
新型コロナウイルス感染症に係る労働災害を含む。

○内は死亡者数（内数）である。  
( )内は転倒災害被災者数（内数）である。

※ 冬季特有災害 142件中48件（前年比-17件）  
【内訳 転倒：41件、墜落・転落1件、交通事故4件、無理な動作2件】

# 全産業労働災害発生状況グラフ（全数）



	墜落 転落	転倒	衝突	飛来 落下	崩壊 倒壊	激突 され	巻き込 まれ等	切れ こすれ	交通 事故	無理 な動作等	その他	合計
動力 機械						1	3	4	1			9
物上げ装置 運搬機械	3	1	1			1	2		8			16
その他の 装置等	2	7	5	1		3	2	3				23
仮設物、 建築物等	4	50	5									59
物質 材料					1							1
荷												
環境等		1				2						3
その他										8	23	31
合計	9	59	11	1	1	7	7	7	9	8	23	142

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	合計
3年 未満	2	6	2	7	10	8	1	36
3～9 年		3	9	2	11	12	1	38
10～19 年			4	7	16	8	7	42
20～29 年				3	4	7	1	15
30年 以上					1	8	2	11
合計	2	9	15	19	42	43	12	142

【新型コロナウイルス感染症を除く】

労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

令和5年（3月末現在）

業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況												
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品																	
	水産食料品																	
	上記以外の食料品	3	10 (2)	4 (2)	6	150.0%	4 (1)	3 (1)	3									
	繊維・衣服その他繊維製品			1	-1													
	木材・木製品、家具・装備品			2	-2													
	パルプ・紙、印刷・製本			1	-1													
	化学工業																	
	窯業土石																	
	鉄鋼業、非鉄金属																	
	金属製品		1	1			1											
	一般機械器具		1 (1)		1		1 (1)											
	電気機械器具																	
	輸送用機械製造		2 (1)		2		1 (1)	1										
	電気・ガス																	
その他の製造	1 (1)	3 (3)	2 (1)	1	50.0%	2 (2)	1 (1)											
小計	4 (1)	17 (7)	11 (3)	6	54.5%	9 (5)	5 (2)	3										
鉱業			1 (1)	-1														
建設業	土木工事		1	2 (1)	-1	-50.0%	1											
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋		1	4 (1)	-3	-75.0%	1										
		木造家屋	2 (1)	3 (1)	2	1	50.0%	1		2 (1)								
		その他の建築工事		2 (1)	4 (1)	-2	-50.0%	1 (1)	1									
	その他の建設		1	① 3	-2	-66.7%	1											
小計	2 (1)	8 (2)	① 15 (3)	-7	-46.7%	5 (1)	1	2 (1)										
運輸交通業	道路貨物運送業	7 (1)	12 (3)	16 (10)	-4	-25.0%	4 (2)	4 (1)	4									
	その他の運輸交通業		5 (4)	10 (9)	-5	-50.0%	4 (3)	1 (1)										
貨物取扱	2 (2)	2 (2)	2 (1)			2 (2)												
農林業	農業	1	1		1			1										
	林業		3	3			1	2										
畜産水産業	畜産業	3 (1)	5 (2)		5		1 (1)	3	1 (1)									
	水産業																	
商業	小売業	6 (2)	22 (12)	18 (13)	4	22.2%	12 (7)	9 (5)	1									
	その他の商業	4	6 (1)	4 (4)	2	50.0%	2	4 (1)										
通信業		3 (2)	2 (2)	1	50.0%	1	2 (2)											
保健衛生業	社会福祉施設	2	10 (6)	14 (4)	-4	-28.6%	6 (4)	3 (2)	1									
	その他の保健衛生業	2 (2)	10 (8)	3 (3)	7	233.3%	4 (3)	6 (5)										
接客娯楽業	旅館業		1	8 (6)	-7	-87.5%		1										
	飲食店	1 (1)	1 (1)	3 (1)	-2	-66.7%	1 (1)											
	その他の接客娯楽業	1 (1)	1 (1)		1				1									
その他	ビルメンテナンス業		5 (3)	7 (6)	-2	-28.6%	4 (3)	1										
	その他(上記以外の全ての業種)	4 (2)	8 (5)	13 (5)	-5	-38.5%	3 (2)	4 (3)	1									
合計	39 (14)	120 (59)	① 130 (71)	-10	-7.7%	59 (34)	47 (22)	14 (3)										

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。

○内は死亡者数(内数)である。

「今月分」は、当月報告受付件数(内数)である。

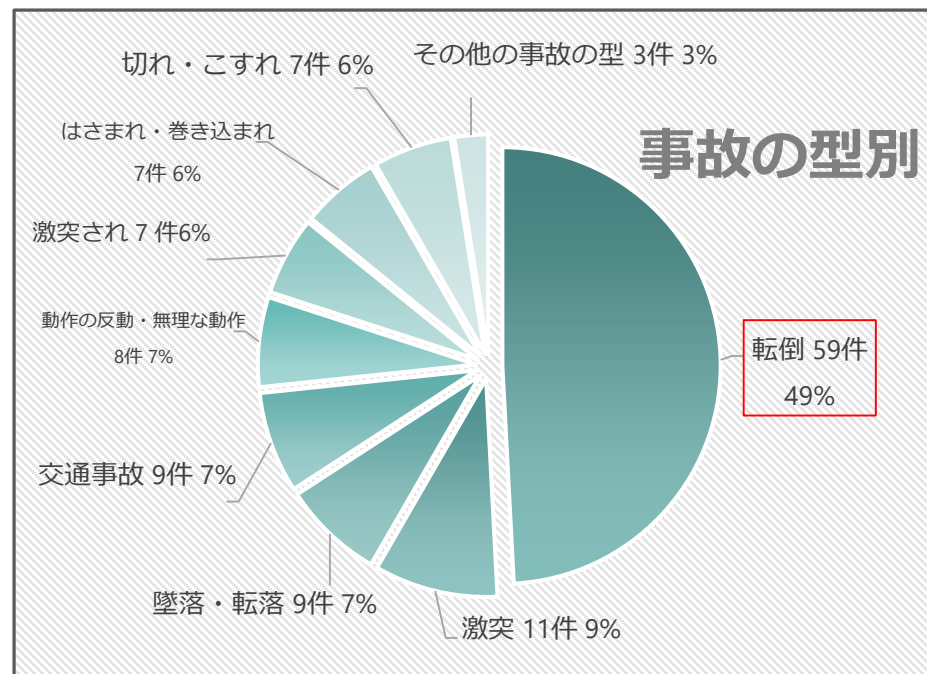
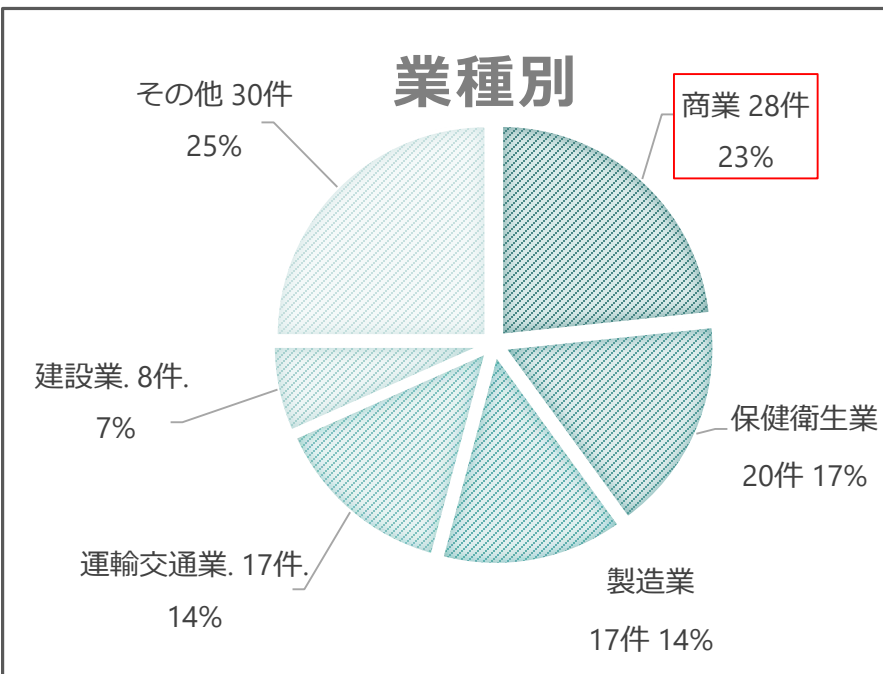
( )内は転倒災害被災者数(内数)である。

この統計は、新型コロナウイルス感染症に係る労働災害は除いたものである。

※ 冬季特有災害 142件中48件(前年比-17件)

【内訳 転倒：41件、墜落・転落1件、交通事故4件、無理な動作2件】

# 全産業労働災害発生状況グラフ（コロナ除く）



	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	崩壊 倒壊	激突 され	巻き 込まれ等	切れ こすれ	交通 事故	無理 な動作等	その他	合計
動力 機械						1	3	4	1			9
物上げ装置 運搬機械	3	1	1			1	2		8			16
その他の 装置等	2	7	5	1		3	2	3				23
仮設物、 建築物等	4	50	5									59
物質 材料					1							1
荷												
環境等		1				2						3
その他										8	1	9
合計	9	59	11	1	1	7	7	7	9	8	1	120

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	合計
3年 未満	2	6		6	10	7	1	32
3～9 年		2	6	2	10	12	1	33
10～19 年			1	4	14	8	7	34
20～29 年				1	4	5	1	11
30年 以上					1	7	2	10
合計	2	8	7	13	39	39	12	120

【転倒災害】

令和5年（3月末現在）

労働災害発生状況

盛岡労働基準監督署

業種	(今月分)	当年累計	前年同期	対前年同期		月別発生状況													
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
製造業	食料品																		
	水産食料品																		
	上記以外の食料品	1 (1)	2 (2)	2 (2)			1 (1)	1 (1)											
	繊維・衣服その他繊維製品																		
	木材・木製品、家具・装備品																		
	パルプ・紙、印刷・製本																		
	化学工業																		
	窯業土石																		
	鉄鋼業、非鉄金属																		
	金属製品																		
	一般機械器具	1 (1)	1 (1)		1		1 (1)												
	電気機械器具																		
	輸送用機械製造		1 (1)		1		1 (1)												
	電気・ガス																		
その他の製造		3 (3)	1 (1)	2	200.0%	2 (2)	1 (1)												
小計	2 (2)	7 (7)	3 (3)	4	133.3%	5 (5)	2 (2)												
鉱業																			
土木工事	1 (1)		1 (1)	-1															
建築工事	鉄骨・鉄筋家屋			1 (1)	-1														
	木造家屋		1 (1)		1			1 (1)											
	その他の建築工事	1 (1)	1 (1)	1 (1)			1 (1)												
その他の建設																			
小計	2 (2)	2 (2)	3 (3)	-1	-33.3%	1 (1)		1 (1)											
運輸交通業	道路貨物運送業		3 (3)	10 (10)	-7	-70.0%	2 (2)	1 (1)											
	その他の運輸交通業		4 (4)	9 (9)	-5	-55.6%	3 (3)	1 (1)											
貨物取扱		2 (2)	1 (1)	1	100.0%	2 (2)													
農林業	農業																		
	林業																		
畜産水産業	畜産業		2 (2)		2		1 (1)		1 (1)										
	水産業																		
商業	小売業	2 (2)	12 (12)	13 (13)	-1	-7.7%	7 (7)	5 (5)											
	その他の商業		1 (1)	4 (4)	-3	-75.0%		1 (1)											
通信業		2 (2)	2 (2)				2 (2)												
保健衛生業	社会福祉施設		6 (6)	4 (4)	2	50.0%	4 (4)	2 (2)											
	その他の保健衛生業		8 (8)	3 (3)	5	166.7%	3 (3)	5 (5)											
接客娯楽業	旅館業			6 (6)	-6														
	飲食店		1 (1)	1 (1)			1 (1)												
	その他の接客娯楽業		1 (1)		1				1										
その他	ビルメンテナンス業		3 (3)	6 (6)	-3	-50.0%	3 (3)												
	その他(上記以外の全ての業種)	1 (1)	5 (5)	5 (5)			2 (2)	3 (3)											
合計	7 (7)	59 (59)	71 (71)	-12	-16.9%	34 (34)	22 (22)	3 (3)											

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。

○内は死亡者数(内数)である。

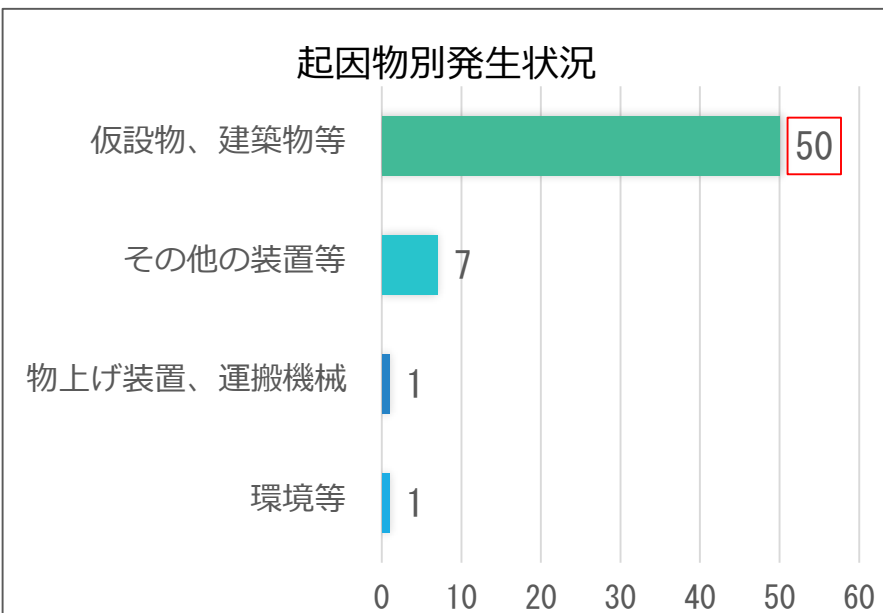
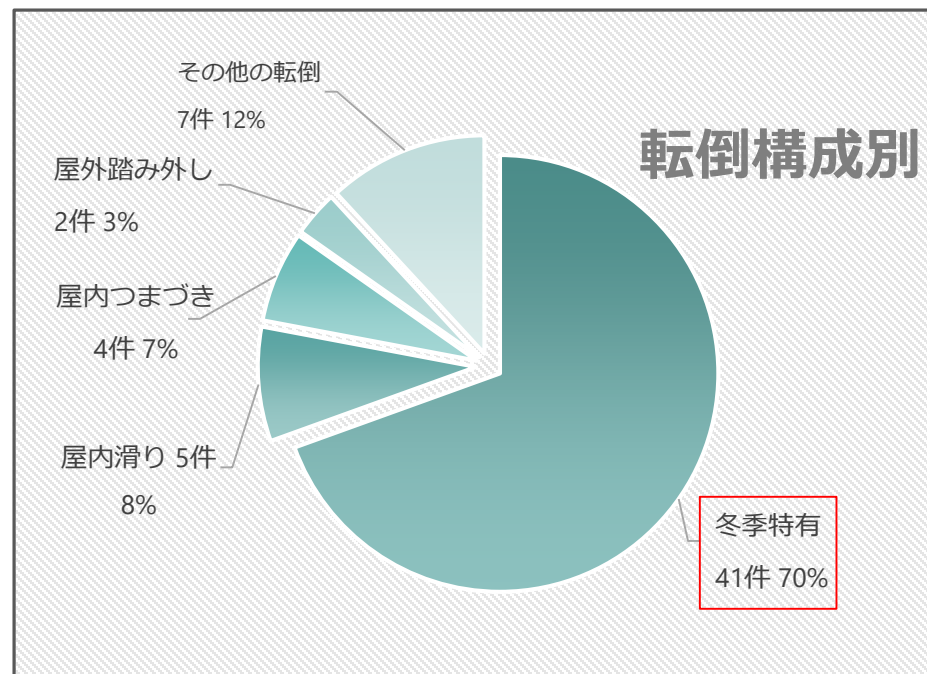
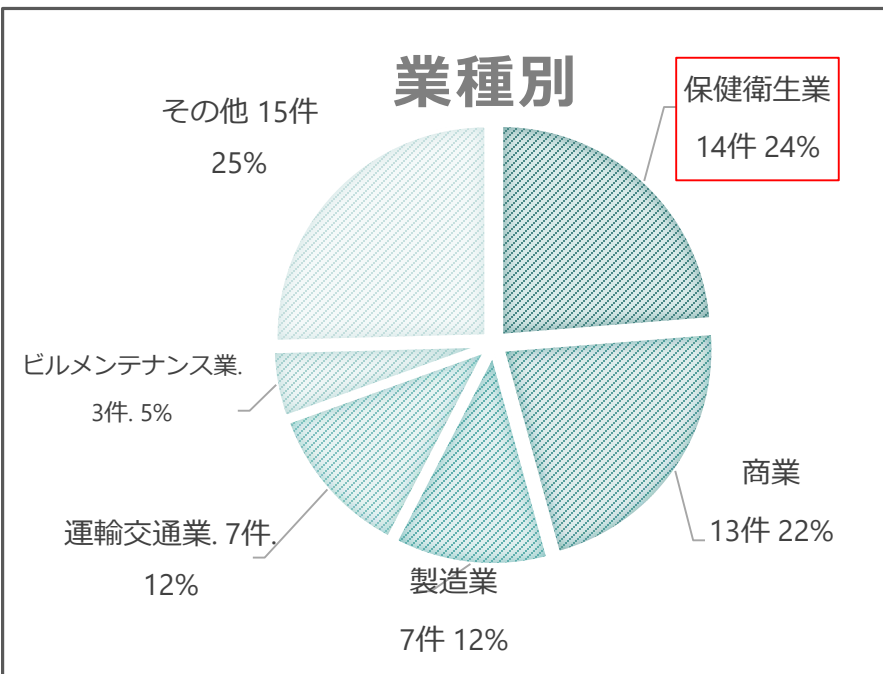
「今月分」は、当月報告受付件数(内数)である。

( )内は転倒災害被災者数(内数)である。

転倒災害を防止しましょう！ 全産業142件中 59件 41.5%

※ 冬季特有転倒災害 59件中 41件(前年比-15件)

# 全産業労働災害発生状況グラフ（転倒）



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
3年未満		2		2	3	6	1	14
3～9年			2		5	6	1	14
10～19年			1	1	7	4	6	19
20～29年					2	4	1	7
30年以上						5		5
合計		2	3	3	17	25	9	59